

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人気づき 思いやり保育		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 3月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 3月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基準以上の看護師を配置し、医療的ケアを必要とする重症心身障害児が安心・安全に過ごせる体制を整えている。 看護師と各職種が連携し、日々の体調管理や医療的ケアを適切に実施するとともに、利用児一人ひとりの状態に応じた個別性の高い支援を行っている。	・基準以上の看護師配置による安全な医療的ケアの実施。 ・看護師とスタッフ間での継続的な情報共有。 ・体調変化の早期発見と迅速な対応。 ・利用児の表情や反応を大切に丁寧な関り。 ・保護者との密な情報共有による安心できる支援体制の構築。	・今後も看護体制の充実を維持し、医療的ケア児・重症心身障害児がより安心して過ごせる環境づくりを継続するとともに職員の専門性向上に努め、支援の質の向上を図っていく。
2	同一建物内にサービス付き高齢者向け住宅が併設されており、行事などを通じて高齢者との交流の機会を持つことができている。また、地域の保育園と定期的な交流を行いインクルーシブの推進を進めており、利用児が地域社会と関わる機会を確保している	・併設するサービス付き高齢者向け住宅入居者との行事への共同参加。 ・年3回の交流活動の実施。 ・利用児の体調や状態に配慮した無理のない交流の実施。 ・お互いの児童にとってより良い交流となるよう、綿密な打合せの実施。	・今後も併設施設や地域との交流機会を継続するとともに交流の機会の拡充を図り、利用児の社会参加の機会をさらに充実させていく。
3	外部の音楽療法の先生を招き、週に1度の音楽療法を開催。バイオリンやフルート・エレクトーンの演奏や様々な楽器に触れる機会を提供している・	・児童の体調や状態に配慮した無理のない参加の実施。 ・五感の刺激や緊張の緩和・呼吸や心拍の安定につながるよう児童の様子に合わせ実施。	・音楽療法の先生と綿密に打ち合わせを行い、その日の児童に合った音楽療法の提供を引き続き行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	令和7年度は保育所側の感染拡大により交流会の開催がすべて中止となっていた。コロナ以降も、季節を問わず様々な感染が流行していることが、定期的な交流会の懸念となっている。	・医療的ケア児が多く、安全管理体制の確保に十分な準備が必要。 ・交流調整に係る職員の時間的余裕の不足。 ・保育所側との継続的な連携体制の再構築中である	・年3回の交流に予備日を設ける。 ・少人数、短時間の園庭の所庭開放の利用を検討。 ・保育所と交流前の事前打ち合わせを綿密に行う。

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 思いやり保育

2026年 5月 1

公表日 日

利用児童数 15名

回収数 11(登録のみ2名)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1	・いつも細かいところまで様子を見てくださっています。	・今後も職員の欠席などによる人員不足時には、隣接する事業所から人員の配置を依頼し安全にお預かりできるよう対応いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				・見えるところについては少なくとももしっかりバリアフリー化されています。	・今後もお子様の過ごしやすい空間を提供してまいります。保護者会の機械などに事業所内の見学など行っていただけるようお声掛けさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				・定期的にフィードバックをいただいています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11				・スケジュールリングしていただいていたのですが、今年はインフルエanza流行に伴い交流できませんでした。	・保育園側とも再度協議し、中止時の振り替え対応など検討していきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				・送迎時にいつも今日あったこと等伝えてくださり、日々のノートも詳しく書いてくださっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			1	・子どもの様子を見られる機会はありますが、保護者同士の交流はあまりないと思います。	・保護者交流会を年に1度行っています。話しやすい雰囲気を出せるよう検討させていただきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				・本当に困った時、いつでも親身になって聞いてくださり、助けてもらいありがたい限りです。	・今後も何か困ったことがありましたら、いつでもご連絡ください。できる限りご協力させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			3	・薬など定期的に変え、点検して下さり、自分も見習いたいと思います。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1			・楽しく登園しています。	・今後もたくさんのイベントや行事等を企画し、お友達やスタッフと楽しく過ごせるよう企画していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			・いつも感謝しております。	・今後もお子様だけでなく保護者の方も楽しんでいただけるよう邁進してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
思いやり保育		2026年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・スペースを有効活用できるように児童の配置等を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	・その日その日の利用児童の能力に合わせて他部署からのヘルプを依頼している。	・サポートにまわれるスタッフの増員。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	・子どもたちの活動に合わせることができるよう遊びに合わせた空間を作るように努めている。	・建物が古くなってきたこともあり、一部支障がみられていたり、見えない場所の清掃が行き届いていない場所もあるため、環境整備にも注力していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2		・児童一人一人に合わせたり目標を伝えていく必要があるため、今後ミーティングを活用していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			・今後事業所内研修も取り組めていけたら良いと思う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・なかなか定期的にミーティングの時間をとることが難しかったが、必要最低限の情報共有、意見交換は行っていた。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	3		・一週間のなかでプログラムは固定化しないが、1か月でみると活動内容のバリエーションが少ない印象を受ける。 ・特に療育プログラムはPDCAが難しかった。(保育士不
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援が行われているか。	7	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	4		・支援と情報共有等が同時進行になってしまうことがあった。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	・打ち合わせの時間が必ずとれない場合もあったが、振り返り等は皆で共有できた。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			・保護者会の頻度はもう少し増やせるよう検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			・各マニュアルの見直しや変更点や改良点は職員間では共有していた。保護者への周知に注力していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	5		保護者への周知に注力していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			・ヒヤリハットに対する職員の認識をもっと高めていければ良いと思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			